

授業展開例（地理A）

1 学年 第2学年

2 題材名「ある国徹底研究」～その国の大統領になったつもりで～.

3 題材について

「ある国」を一国担当し、その国について地誌を調べ（地誌研究）、その資料をもとにして外交シミュレーションを実施する。世界にはさまざまな環境のもとで大小さまざまな国家が構成され、国民生活が営まれていることを理解させたい。

4 題材の主たる目標

地誌の基本的な調査項目を決め、わかりやすくレポートを作成できる。

外交シミュレーションにより相手の意見や考えに対して配慮する態度を育成する。

【普遍的視点】

意見交換（文書交換）を行う中で、コミュニケーション能力を育成し、環境や文化の違いを尊重する態度を育成する。

【コミュニケーション能力の育成】

5 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
担当になった国について意欲的に調査できる。	担当になった国および他の生徒が示す地理的な条件を理解した上で、どの国と関係をつくれればよいかを適切に判断できる。	調査内容をレポートにして、わかりやすくまとめることができる。文書を書いて自分の考えを正確に伝えることができる。	地誌研究を通じて、世界の諸地域の地理的な理解を図ることができる。

6 指導と評価の計画（全4時間）

時	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関心	思考	技能	知識	評価規準	
1	地誌研究（調査研究） 3時間 担当国の決定 ステップ1～3					情報を収集し、精選してわかりやすいレポートを作成できる。	レポート提出
2	外交シミュレーション 1時間（本時） ステップ4					自分の意見を的確な文書に表現できる。 積極的に自分の意見を述べることができる。	観察 提出物 発表

7 本時のねらい

(1) 本時の目標

「自分がその国の大統領になったとしたら、どの国と同盟関係を築くか」というテーマについて、地理的な見方・考え方を基本にその対象となる国を探す。外交シミュレーションにより他国（他生徒）とのコミュニケーション能力を育成する。また意見（文書）交換を行う中で相手国（相手生徒）の意見や考えを尊重し、相手を傷つけずに自分の意見を表明する技術を学ぶ。

(2) 観点別評価規準

自分（自国）および相手（相手国）の地理的な条件をきちんと理解した上で、的確な文書を作成し、意見を交換できる。

【思考・判断】【技能・表現】

- (3) 準備物 生徒用プリント（指示プリント レポート用紙）
 地誌研究用資料
 外交シミュレーション用記入用紙

(4) 展開

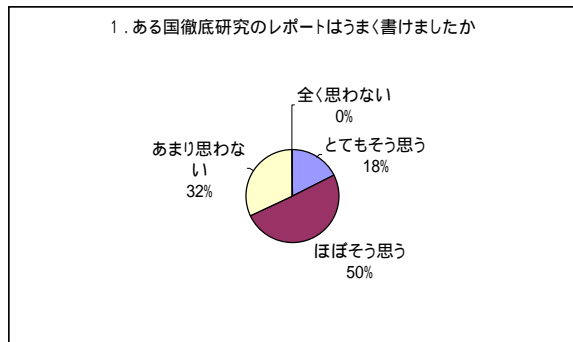
指 導 計 画				
学習内容	指導過程	資料	学習過程（生徒の活動）	留意点
導入	本時の学習計画の提示，説明	指示プリント2 ステップ4	指示プリントを読む。	一人一国を担当して，調査し作成したレポートをもとに学習を進めることを確認する。
展開	<p>ステップ4 外交シミュレーションのやり方を説明する。</p> <p>指示した場所(プリントに担当国と名前を記入する)に着席させる。</p> <p>レポートを回して読ませ例にならない外交文書を作成させる。(一度に3ヶ国ではなくとりあえず1ヶ国からはじめて，次の指示を出す)</p> <p>席を離れて文書を届けさせる。</p> <p>席を離れて話し合いをさせる。</p> <p>文書(回答)を作成し届けさせる。</p> <p>同盟関係が成立した場合は記録用紙に記入させる。</p>	<p>指示プリント2</p> <p>ある国一覧</p> <p>文書記入用紙</p> <p>記録用紙</p>	<p>指示プリントを読む。</p> <p>他国(他生徒)のレポートを回して読む。</p> <p>同盟関係を結びたい国を3ヶ国選択し，文書を作成し他国(他生徒)に届ける。</p> <p>届いた文書に対して相手国(生徒)と話し合い(交渉)をする。 「ある国のレポート」を持参する。</p> <p>受け取った文書に対する回答を文書にして返す。</p> <p>同盟関係が成立した場合は記録用紙に記入する。</p>	<p>自分が大統領になったつもりで外交シミュレーションをする。</p> <p>例を参考にして文書を作成する。</p> <p>地理的な条件をもとにして話し合い(交渉)をする。 話し合い(交渉)では同盟の可否は決めない(文書で回答させる)。</p> <p>同盟を締結する場合はその理由を書く。</p> <p>拒否する場合も理由を明確にし，誠意を持った対応をさせる。</p>
まとめ	<p>報告文書の提出 (5人程度，何を規準に回答したかを発表させる)</p> <p>自己評価</p>	記録用紙	記録・自己評価表へ記入する。	

備考 参考文献 世界とその国々(国土地理協会)
 データブックオブザワールド(二宮書店)

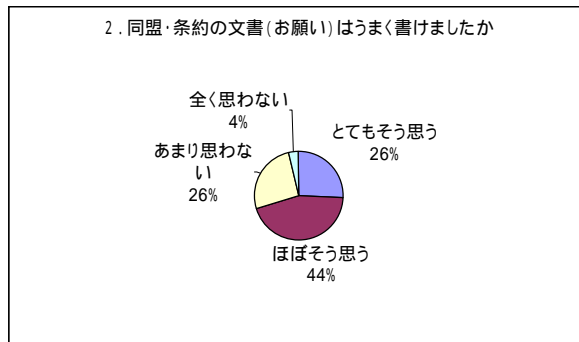
8 評価

(生徒 2年生 28名)

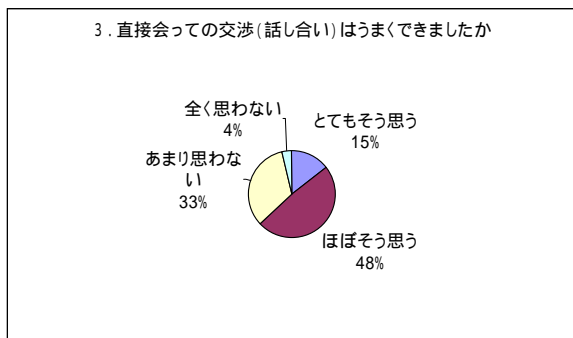
(1) 自己評価の結果 (生徒アンケート) その結果と分析



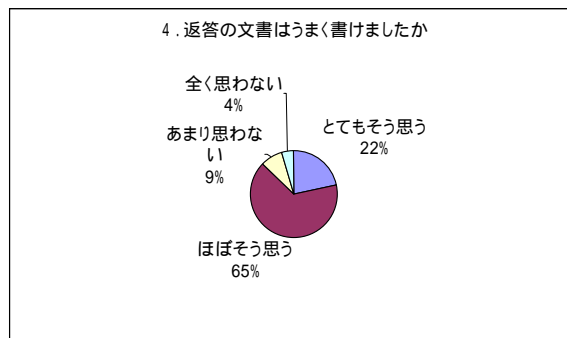
与えた資料およびインターネットを利用してよく書いていた。



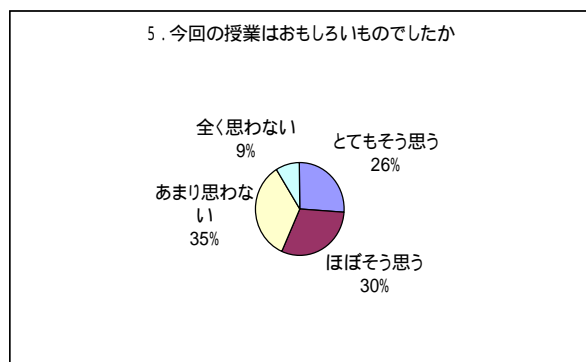
相手国の情報が不足していたので苦労していた。



直接話をするというのはなかなか恥ずかしらしく、あまり意見交換はできていなかった。



文章を書くのは、慣れているのかすらすら書いているものが多かった。返答はやりやすかったようだ。



全体的には楽しんでやっていたようであるが、やり方がわからない、相手国の情報が不足しているなどの理由から難しいと感じた生徒も多かった。

(2) 生徒の意見感想

- ・レポートはけっこうできたけどシミュレーションは何をすればいいのかわからなくて難しかった。
- ・相手国のことをよく知り，自国のこともよく知ることがたいへんだと思いました。なかなか条件に合う国を見つけられず苦労しました。
- ・貧しい国は同盟を結びたがられないようです。悲しいなあと思った。
- ・文書を送るのは難しかったけど，返事を書くのはすごく書きやすかった。全部のレポートをみれば文書を送りたいと思う国ができたと思う。
- ・今回はちょっと時間が少なかったと思います。
- ・普段ふれることのない小さな国や目立たない国のことをたくさん知ることができて楽しかった。もっと奥の方まで知ることができたらおもしろいと思う。
- ・いろいろな国の地理がわかってよかった。もうちょっと他の国の写真や資料が欲しかった。

(3) 反省と課題

生徒の意見として多かったのは，他国（他生徒）のレポートを読む時間があまり無かったということであった。回し読みをさせたが，じっくり読んで3ヶ国を探すのは時間がかかりすぎるので，今回は20分程度しかとらなかつた。その点が生徒には不満だったようである。よって2時間の実施時間をとるべきだったと思う。またレポートはすべて印刷して冊子にするのが理想であった。

また話し合いの時間もとったが，何をどう話せばいいのかがわからず，話の内容に乏しかったようである。もう少し具体的な指示が必要であった。

全体的には，いつもと違い？楽しく，自主的に授業に取り組む様子が見られた。おおむね生徒には好評であったので，このような授業を学期に一度は展開していきたい。しかし，「コミュニケーション能力の育成」という目標は時間的な制約もあり，今一步達成できなかった。

今後は上記のいくつかの問題点を改善していく必要がある。